

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

REC'D 11 MAR 2004

WIPO

PCT

(法第12条、法施行規則第56条)
〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 YCT-797	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/02342	国際出願日 (日.月.年) 28.02.2003	優先日 (日.月.年) 17.07.2002
国際特許分類 (IPC) Int. C11' C12N 15/09, C07H 7/06, C07H 11/04		
出願人 (氏名又は名称) 独立行政法人理化学研究所		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。

3. この報告には次の附属物件も添付されている。

a 附属書類は全部で _____ ページである。

指定されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)

第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙

b 電子媒体は全部で ディスク 1枚 (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するデータを含む。 (実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- 第II欄 優先権
- 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- 第IV欄 発明の單一性の欠如
- 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- 第VI欄 ある種の引用文献
- 第VII欄 國際出願の不備
- 第VIII欄 國際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 05.02.2004	国際予備審査報告を作成した日 23.02.2004
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 長井 啓子 電話番号 03-3581-1101 内線 3448
	4N 9123

第 I 欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。
 PCT 規則 12.3 及び 23.1(b) にいう国際調査
 PCT 規則 12.4 にいう国際公開
 PCT 規則 55.2 又は 55.3 にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。（法第 6 条（PCT 14 条）の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。）

 出願時の国際出願書類

明細書 第 _____ ページ、
第 _____ ページ*、
第 _____ ページ*、
出願時に提出されたもの _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの _____
 請求の範囲 第 _____ 項、
第 _____ 項*、
第 _____ 項*、
第 _____ 項*、
出願時に提出されたもの _____ PCT 19 条の規定に基づき補正されたもの _____
付けて国際予備審査機関が受理したもの _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの _____
 図面 第 _____ ページ/図、
第 _____ ページ/図*、
第 _____ ページ/図*、
出願時に提出されたもの _____ 付けて国際予備審査機関が受理したもの _____
付けて国際予備審査機関が受理したもの _____

 配列表又は関連するテーブル
配列表に関する補充欄を参照すること。

3. 補正により、下記の書類が削除された。

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表（具体的に記載すること） _____
 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること） _____

4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。（PCT 規則 70.2(c))

明細書 第 _____ ページ
 請求の範囲 第 _____ 項
 図面 第 _____ ページ/図
 配列表（具体的に記載すること） _____
 配列表に関するテーブル（具体的に記載すること） _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-10	有
	請求の範囲 _____	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 1-10	有
	請求の範囲 _____	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-10	有
	請求の範囲 _____	無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1：平尾一郎ら、「人工塩基対の創製 遺伝暗号の拡張を目指して」
蛋白質 核酸 酵素, Vol. 47, No. 14, P. 1904-1913 (Nov. 2002)

文献2：I. Hirao et al, 「A Unique Unnatural Base Pair Between a C Analogue, Pseudoisocytosine, and an A Analogue, 6-Methoxypurine, in Replication」
Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters, Vol. 12, P. 1391-1393 (May 2002)

文献3：T. Fujiwara et al, 「Synthesis of 6-(2-Thienyl)purine Nucleoside Derivatives That Form Unnatural Base Pairs with Pyridin-2-one Nucliosides」
Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters, Vol. 11, P. 2221-2223 (2001)

文献4：I. Hirao et al, 「An unnatural base pair for incorporating amino acid analogs into proteins」
Nature Biotech., Vol. 20, P. 177-182 (Feb. 2002)

文献5：WO 01/016149 A (Boehringer Mannheim Gesellschaft Mit Beschränkter Haftung) 2001.03.08 & JP 2003-508405 A

請求の範囲 1-10 記載の発明は、国際調査報告で引用されたいずれの文献（上記文献1-5）に対しても新規性及び進歩性を有する。
国際調査報告で引用されたいずれの文献にも、5位置換-2-オキソ(1H)-ピリジン-3-イル基を塩基として有するヌクレオシド及びヌクレオチドについて記載も示唆もされていない。

配列表に関する補充欄

第I欄2. の続き

1. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき国際予備報告を作成した。

a. タイプ 配列表
 配列表に関するテーブル

b. フォーマット 書面
 コンピュータ読み取り可能な形式

c. 提出時期 出願時の国際出願に含まれる
 この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
 出願後に、調査又は予備審査のために、この国際機関に提出された
 _____ 付けで、この国際予備審査機関が補正*として受理した

2. さらに、配列表又は配列表に関するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

3. 棚足意見：

*第I欄4. に該当する場合、差替える配列表又は配列表に関するテーブルに "superseded" と記入されることがある。